

おだかいさま

ODAGAISAMA

122号
令和8年
2月1日発行



学生ボランティア交流会 IN 鶴岡2025



ダンボールベッドの耐荷重は200kg！



鶴岡中央高校手話教室の活動紹介

共に学び・想いを伝え・未来を拓く^{ひら}

令和7年12月7日(日)、「学生ボランティア交流会in鶴岡2025」が開催されました。鶴岡市内で活動する高校・高専ボランティア部や中高生ボランティアサークル、YYボランティアサマーチャレンジに参加した中高生などを対象に、35名(中学生5名、高校生11名、高専生2名、顧問・事務局5名、講師・スタッフ等12名)が参加しました。これからの活動に生かせるような学びを得ること、学生ボランティア同士の交流を深めることを目的としています。

前半は、鶴岡市ボランティアセンターと鶴岡市防災安全課が講師となり、いざというときに地域の皆さんの支えとなれるよう災害時の避難所を想定した研修会を行いました。近年の災害ボランティア活動についての講話や、避難所で使用する段ボールベッドや簡易トイレの組み立て体験を通して、有事の際に役立つ知識を学び、災害への理解を深めました。

後半は、各校・各サークルのボランティア活動の紹介と、地域を盛り上げる体験や交流を考えるグループワークを行いました。参加者からは「実際に段ボールベッドを組み立ててみて、みんなで協力しないとできないと思った」、「交流会がなければ交流する機会がないので貴重な会となった」、「各校やサークルの活動をより深く知ることができてよかった」、「面白くて幅広い世代が楽しめる企画を考えたい」といった声が聞かれました。

今回の交流会をきっかけに、学生ボランティア同士のつながりが深まること、また、地域の中で学生ボランティア主体の新たな活動につながることを期待します。



年頭のご挨拶



会長 阿部 真一

新年あけましておめでとうございます。

皆様には穏やかな新年をお迎えになられたことと存じます。昨年中は、わたしども鶴岡市社会福祉協議会の取り組みに多大なご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、私は、昨年十二月二十三日から、山本知也前会長の後任として会長を務めさせていただきました。もとより微力ではございますが、当協議会が掲げる「おだがいさまのまちづくり」の理念のもと、これまでの取り組みをさらに前に進めてまいります。皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

改めて、この「おだがいさま」という言葉についてですが、相手への思いやりや共感を示し、助け合いの精神を表しています。そして相手を気遣う気持ちとともに、相手に負担を感じさせないさりげなさも感じられます。

私たち鶴岡市社会福祉協議会は、今年も職員一同、皆様と一緒に「おだがいさまのまちづくり」を進め、より良い福祉サービスを提供できるように一生懸命努めてまいります。

結びに、今年一年が皆様にとって良い年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

“万が一の災害に備えて” 鶴岡市、NPO法人、青年会議所、鶴岡市社協が連携 — 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 —



ボランティア受付訓練の様子



活動とボランティアのマッチング訓練

11月9日(日)、鶴岡市総合防災訓練が湯田川地区を会場に開催されました。地震による建物被害、土砂災害を想定した防災訓練の中で、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を行い、鶴岡青年会議所とNPO法人鶴岡災害ボランティアネットワーク、そして地元住民の皆さんにも参加していただきました。

今年の訓練では、「被災した聴覚障がい者のために、聴覚障がいがある人がボランティア活動に来てくれた」という想定を取り入れました。災害現場を数多く経験しているNPOメンバーからは、聴覚障がいがあるボランティアを受け入れる場合の準備等についてのアドバイスもいただきました。いざという時に備え、今後も基本的な対応訓練を継続していきます。

災害ボランティアセンターとは？

災害時には、多くのボランティアが被災地へ支援に駆けつけますが、そうしたボランティアの方々を受け入れる「災害ボランティアセンター」が主に被災地の市区町村社会福祉協議会に設置されます。災害ボランティアセンターは、被災された方ができるだけ早く安全な生活を取り戻し、復旧・復興を進められるよう、被災状況や困りごとの把握、ボランティアの受け入れや活動調整を担い、支援していく拠点です。

おだがいさまのまちづくり をめざして

鶴岡市社会福祉協議会

福祉のつどい

を開催しました

八十八名が参加、地域福祉を考える一日

十一月十八日、鶴岡まちなかキネマを会場に、市社協の基本理念「おだがいさまのまちづくり」を進めるため、地域福祉活動へ理解を深めてもらう機会として「福祉のつどい」を開催しました。地域住民や関係者など、八十八名の皆様にご参加いただきました。

福祉映画の上映と講話、福祉事業所で作られたハンドメイド品等の販売も行い、多くの皆様に福祉への関心を深めていただき、地域づくりにつながる催しとなりました。また、当日は、地域福祉の発展に尽力された一個人・二団体の方々への表彰状贈呈式を行い、これまでの活動に感謝を伝えました。

映画上映と講話で

『在宅緩和ケア』を学ぶ

福祉と映画のコラボ事業として、今年度は「在宅緩和ケア」を題材とした映画『ハッピー☆エンド』を上映しました。上映後には、鶴岡市立荘内病院鈴木聡院長から「希望する場所で最期を迎えたいを叶える」地域緩和ケア庄内プロジェクトの挑戦」と題し、お話しをいただきました。

参加者からは「自身の最期を考えるきっかけになった」「鶴岡での緩和ケアの取組を初めて知った」などの声が寄せられ、福祉への関心を一層深める機会となりました。

今後多くの方々に地域福祉への関心を深めていただけるよう、様々な活動に取り組んでまいります。



地域福祉の発展のため献身的に尽力された

個人や団体に表彰状、感謝状をお贈りしました

「表彰状受賞者」

特定非営利活動法人公益のふるさと創り鶴岡（鶴岡地域）

写真左から二番目

平成十二年四月に開設した「庄内市民活動サロン」が前身。平成十七年十月現名称に改名。開設当初から住民主体で取組まれる市民活動、まちづくり、地域福祉活動を支援し、ネットワーク構築に尽力されてきた。また、福祉・介護の分野との連携では、子どもたちを対象に福祉・介護体験などに取り組み、さらに令和五年鶴岡まちなかキネマ再生をきっかけに「映画と福祉と商店街のコラボ山王キネマち大学」では、当社協との連携により他分野との連携による地域福祉の推進やまちづくりの取り組みに貢献されている。

「感謝状受賞者」

蟻坂 隆氏（宮城県石巻市） 写真右から二番目

平成二十三年東日本大震災時に、義母の出身地鶴岡市を訪れたことをきっかけに、石巻市湊地区での鶴岡市ボランティアセンターからの人や物資等を受け入れる調整役を引き受けていただいた。その後、鶴岡市で開催する民生児童委員協議会や学区地区社協、小中学校での研修会講師や石巻市への視察研修・交流などの受け入れを継続して行っていた。さらに災害支援活動を行った団体への活動資金の寄付などの協力をいただく等、鶴岡市民の福祉・防災意識の向上に貢献されている。

真如苑庄内支部（鶴岡地域） 写真左

令和四年から一般社会福祉事業への寄付金を頂戴しており、地域福祉事業を推進する貴重な財源として活用させていただいている。

情報掲示板

鶴岡福祉バス予約会のお知らせ (令和8年4月～6月分)

福祉バスの利用を希望される団体を対象に予約会を開催します。予約会に参加される場合は、事前申込が必要です。

●事前申込受付期間

令和8年2月2日(月)から2月13日(金)まで
9:00～17:00(土日・祝日を除く)
※受付順番によって優位になることはありません。

●対象期間 令和8年4月～6月

●利用対象 旧鶴岡市区域に住所を有する団体

●予約会日時 令和8年2月17日(火) 10:00～12:00

●予約会会場 鶴岡市社会福祉協議会 本部事務局 (鶴岡市山王町 13-26)

●申込み・問合せ

鶴岡市社会福祉協議会 総務課 福祉バス担当
TEL 26-7815 FAX 26-7837 (申請書は同所にあります)

※予約会後の2月18日(水)より、通常の申込方法で福祉バスの予約を受け付けます。

観光×福祉で… まちはもっと優しくなる

移動やコミュニケーションに不安を抱える方を含め、誰もが旅を楽しめる環境づくりを目指し、県の観光介助ボランティア事業と当ボランティアセンターの出前講座が連携した取り組みが、鶴岡市を会場に実施されました。

10月17日の研修会には、観光・福祉関係者や自治体職員など約50人が参加し、観光分野の先進事例や県内の取り組みを学び、障がいのある方へのサポート体験を行いました。12月4日には、観光関係者で鶴岡公園周辺や羽黒山頂などを巡り、観光地のバリアフリー状況や介助方法を学ぶモニターツアーを実施しました。

誰もが安心して旅行を楽しめる環境づくりは、年齢や障がいの有無にかかわらず支え合う「地域共生社会」の実現にもつながり、この度の取り組みはその大切さを改めて共有する機会となりました。

JINRIKI(前輪を持ち上げて引くけん引式車いす補助装置)を体験!



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和7年11月1日から令和7年12月31日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎本部事務局へ

- 匿名様 20,000円
- 真言宗豊山派山形二支所仏教青年会様 72,500円
- 善寶寺様 25,130円
- 鶴岡市水道部退職者協議会様 117,124円
- 真如苑 庄内支部様 200,000円
- 鶴岡東高等学校様 5,380円

◎羽黒福祉センターへ

- 広瀬地区自治振興会様 食品 71点
- 匿名様 食品 9点

◎鶴引福祉センターへ

- 鶴引中学校東校舎第1期卒業生一同様 22,000円

◎温海福祉センターへ

- ㈱クアポリス温海しゃりん様 30,000円

★鶴引福祉センター・

- 地域包括支援センターくしびきへ
- 平藤久喜様 50,000円

★鶴岡地域生活自立支援センターくらしへ

- 匿名様 10,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ

- 齋藤一枝様 抹茶茶碗 10個
- 匿名様 花器 36個
- 渡部千津子様 50,000円
- 匿名様 1,787円

- ㈱ファミリーマート様、ファミリーマート鶴岡三瀬店・ファミリーマート鶴岡水沢店・ファミリーマート鶴岡大山店・ファミリーマートあつみ温泉インター店様
- クリスマスケーキ 4ホール、フライドチキン 32個

★デイサービスセンターおおやまへ

- 工藤七三郎様 手作り門松 一对

★地域福祉センターなえづへ

- 匿名様 100,000円
- ㈱産直あぐり様 リンゴ3箱、ラフランス1箱

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

- スマイル サンタクロース様
- クリスマスケーキ 7ホール

- ㈱産直あぐり様 リンゴ3箱、ラフランス1箱

★デイサービスセンターとようらへ

- 工藤七三郎様 手作り門松 一对

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ふるさと温海会様 73,000円

★各学童保育所へ

- 森林牧場 代表 佐藤久一様
- サッカーボール 8個

★中央児童館へ

- ブックオフコーポレーション㈱様 本 103冊

★第四学区学童保育所へ

- 鶴岡「小さな親切」の会様
- ボウリングセット他 11点

★くしびき西部保育園へ

- 田川建設労働組合鶴引支部様 20,000円

- 森林牧場 代表 佐藤久一様
- サッカーボール 11個

★くしびき保育園へ

- ㈱清川屋様 焼き菓子 121枚

★鶴引すこやかセンターへ

- ㈱産直あぐり様 リンゴ2箱、ラフランス2箱
- 工藤七三郎様 手作り門松 一对

★もみじが丘へ

- マックスバリュあつみ店様
- クリスマスケーキ 9ホール

★フードバンクへ

- 鶴岡ごはん日本一実行委員会様 米 32.5kg
- JA庄内たがわ女性部様 食品、日用品 197点
- 栄地区福祉のつどい様 食品 50点
- 山形県社会福祉事業団 庄内地区職員一同様 食品 121点

★JA鶴岡女性部様 食品、日用品 221点

★特別指定寄附(就労継続支援B型事業所きりへ)

- 山形県ヤクルトレディ親交会・山形県ヤクルト協会様
- 50,000円

★特別指定寄附(就労継続支援B型事業所ミントへ)

- 山形県ヤクルトレディ親交会・山形県ヤクルト協会様
- 50,000円

★特別指定寄附(市内の子ども食堂へ)

- ベルナール鶴岡様 20,190円

おだがいさま

第122号

令和8年2月1日発行

発行部数 47,300部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815

FAX 0235-26-7837

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター

地域福祉課 TEL 26-9222

生活支援課 TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

鶴引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



広報誌「おだがいさま」は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源とし、偶数月に全戸配布でお届けしています。